



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



若鮎祭も終わり 本格的に〇〇〇だ!

第50回若鮎祭は、9月7日と8日の2日間にわたり行なわれました。取り組み期間中は、台風接近のため、予定していた活動の変更もありました。

今年度のスローガンは『Unity』でした。生徒会や3年生を中心に、生徒たちはよく頑張りました。それぞれの学年や全校で、一致団結し燃焼できました。生徒たちの真剣な表情やまなざしを多くの場面で感じることができました。



Have a nice day. Today is sports festival.
Let's enjoy. Thank you. ※体育の部「校長の挨拶」より

学園祭を終えた今、生徒たちは、その成果と課題を明らかにして、新たな取り組みを始めようとしています。

さあ“若鮎祭も終わり、本格的に〇〇〇だ!”と気持ちを切り替えて、新たな〇〇〇に挑戦です。

自分の特性と進路を考えよう!

さて、若鮎祭の取り組みが終われば、今年度も後半戦に突入します。本格的に勉強や部活動(=〇〇〇)に取り組む季節となります。

特に、3年生は部活動も終了し、いよいよ進路を決定していく時期です。第1回教育課程到達度確認検査(教達検)を控えて、これまでの学習内容の復習を中心に、家庭学習を進めている人が多いことと思います。この検査は、進学を希望する生徒にとり、高校選択の目安になります。

今は、自分の意志や希望が尊重され“入れる高校より、行きたい高校”を選ぶ時代です。つまり“合格可能

な高校より、自分が望む進学したい高校”を重視するということです。

ただ、現実的には、選抜検査が依然として存在しており、その行きたい高校(自分が望む進学したい高校)に見合う学力や実績・能力等が要求されています。

山梨県の高校入試制度も、時代とともに変革されてきました。学区制の廃止により、全県一区となり、高校選択の幅は広がり、少子化による定員の削減や高校の

統廃合、通信制高校の充実等、様々な動向に注視する必要があります。

そこで、ご家庭ではどの高校に進学したいか、じっくり話し合いをしてください。それと並行して、どの高校を選ぶにしても、勉強を地道に続けて

いくことが肝心です。

さらに、1・2年生も、自分の長所や短所を知ることによって自己理解を深めましょう。具体的な取り組みとして、職業や高校調べ等を通して“将来の夢を明確な目標に”して、日々の生活につなげることです。合わせて学習方法の改善にも取り組んでください。



一方、部活動では、新人大会があります。これまでの練習の成果が試されます。勉強と並行して、部活動でも力を発揮してください。どうぞ、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。